

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議資料1

令和5年1月18日

協議会名: 飛騨市公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
<p>【補助対象となる事業者名等の名称を記載】</p>	<p>【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容等を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】</p>	<p>【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】</p>	<p>A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】</p>	<p>A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】</p>	<p>【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載</p>
<p>濃飛乗合自動車(株)</p>	<p>神原線 【運行区間】 ①濃飛バス神岡営業所～寺林公民館～柏原パーキング～飛騨古川駅 ②割石温泉～寺林公民館～柏原パーキング～飛騨古川駅 ③濃飛バス神岡営業所～神岡小学校～柏原パーキング</p>	<p>【前回の事業評価結果】 路線の見直しに際しては、課題等を聞き取り、利用目的や利用施設を把握した上で検討が進むことを期待します。 GTFS形式によるオープンデータ化により、わかりやすくする環境整備に取り組まれることを期待します。 【反映状況】 飛騨市全域でGTFS-JPデータを整備済 乗込調査を実施し、利用者の意見聴取を行った。</p>	<p>A 事業が計画に基づき、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・利用客数:1,721人 ・収支率 :10%以上※対象路線全体 【結果】 ・利用客数:1,600人(前年1,657人) ・収支率 :全体6.38%(前年7.86%) ※路線単体2.10%(前年3.25%) ・利用客数、収支率ともに未達成 ・前年比96.5%と微減しており、柏原地域から古川町方面への利用者が減少していることが原因である。 ・収支率については、収入額は前年と変わらないものの、運行経路の延長や燃料費高騰による運行経費の増加により減少した。</p>	<p>神岡町内各地域との意見交換会を踏まえ、神岡町全域で交通網の再編を検討している。概ね再編案策定しているところであるが、他路線との接続や町内のドラッグストアやホームセンター、金融機関へ行けるよう経路及びダイヤを見直す予定(R5.10) 本路線は古川方面へ運行している路線であり、再編によるダイヤ改正に関しては現在の利用状況も考慮した内容とする</p>
<p>濃飛乗合自動車(株)</p>	<p>吉田線 【運行区間】 ①濃飛バス神岡営業所～飛騨市民病院～飛騨神岡高校～流葉スキー場 ②濃飛バス神岡営業所～飛騨市民病院～飛騨神岡高校～吉田精米所前 ③割石温泉～濃飛バス神岡営業所</p>	<p>【前回の事業評価結果】 路線の見直しに際しては、課題等を聞き取り、利用目的や利用施設を把握した上で検討が進むことを期待します。 GTFS形式によるオープンデータ化により、わかりやすくする環境整備に取り組まれることを期待します。 【反映状況】 飛騨市全域でGTFS-JPデータを整備済 沿線地域で意見交換会を実施し、地域内公共交通網の再編案を策定した。</p>	<p>A 事業が計画に基づき、適切に実施された。</p>	<p>【目標】 ・利用客数:5,398人 ・収支率 :10%以上※対象路線全体 【結果】 ・利用客数:5,018人(前年5,398人) ・収支率 :全体6.38%(前年7.86%) ※路線単体5.04%(前年5.58%) ・利用客数、収支率ともに未達成 ・収支率は前年と比べ減少したが、地域公共交通計画の目標に定める5%は達成している。</p>	<p>神岡町内各地域との意見交換会を踏まえ、神岡町全域で交通網の再編を検討している。概ね再編案策定しているところであるが、他路線との接続や町内のドラッグストアやホームセンター、金融機関へ行けるよう経路及びダイヤを見直す予定(R5.10) 本路線は高校への通学利用のある路線であることから、高校との意見交換を行い、通学利用者の利便性向上に向けて取り組んでいく。</p>

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(生活交通確保維持改善計画に基づく事業)

協議資料1

令和5年1月18日

協議会名: 飛騨市公共交通会議

評価対象事業名: 地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金

①補助対象事業者等	②事業概要	③前回(又は類似事業)の事業評価結果の反映状況	④事業実施の適切性	⑤目標・効果達成状況	⑥事業の今後の改善点(特記事項を含む)
【補助対象となる事業者名等の名称を記載】	【系統名・航路名・設備名、運行(航)区間、整備内容を記載(陸上交通に係る確保維持事業において、車両減価償却費等及び公有民営方式車両購入費に係る国庫補助金の交付を受けている場合、離島航路に係る確保維持事業において離島航路構造改革補助(調査検討の経費を除く。)を受けている場合は、その旨記載)】	【事業評価の評価対象期間において、前回の事業評価結果をどのように生活交通確保維持改善計画に反映させた上で事業を実施したかを記載】	A・B・C評価 【計画に基づく事業が適切に実施されたかを記載。計画どおり実施されなかった場合には、理由等記載】	A・B・C評価 【計画に位置付けられた定量的な目標・効果が達成されたかを、目標ごとに記載。目標・効果が達成できなかった場合には、理由等を分析の上記載】	【事業の今後の改善点及びより適切な目標を記載。改善策は、事業者の取り組みだけでなく、地域の取り組みについて広く記載。特に、評価結果を生活交通確保維持改善計画にどのように反映させるか(方向性又は具体的な内容)を必ず記載すること。】 ※なお、当該年度で事業が完了した場合はその旨記載
飛騨市	かみおか循環乗合タクシー 系統2 【運行区間】 神岡振興事務所～旧奥飛騨温泉口～濃飛バス神岡営業所～割石温泉～神岡振興事務所	【前回の事業評価結果】 路線の見直しに際しては、課題等を聞き取り、利用目的や利用施設を把握した上で検討が進むことを期待します。 GTFS形式によるオープンデータ化により、わかりやすくする環境整備に取り組まれることを期待します。 【反映状況】 飛騨市全域でGTFS-JPデータを整備済 神岡各地域で意見交換会を実施し、地域内公共交通網の再編案を検討した	A 事業が計画に基づき、適切に実施された。	【目標】 ・利用客数:9,213人 ・収支率 :10%以上※対象路線全体 【結果】 ・利用客数:8,322人(前年8,714人) ・収支率 :全体 %(前年7.86%) 路線単体15.85%(前年17.69%) ・利用客数、収支率ともに未達成 ・市内の中でも利用客数、収支率は高い水準を保っているものの、利用者数が前年比95.5%と減少しており、年々減少している。これは、人口減少が主な要因である一方で新規利用者を獲得できていないことも一つの要因である。 ・収支率についても燃料費高騰により運行経費が増加しており路線単体でも収支率が減少している結果となった。	神岡町内各地域との意見交換会を踏まえ、神岡町全域で交通網の再編を検討している。概ね再編案策定しているところであるが、他路線との接続や町内のドラッグストアやホームセンター、金融機関へ行けるよう路線を見直す予定(R5.10) 本路線は、神岡町市街地の中心となる路線であり、今後パターンダイヤを採用し、利用者に見えやすいダイヤと見直すことで新規利用者の獲得を図る。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

令和5年1月18日

協議会名:	飛騨市公共交通会議
評価対象事業名:	地域内フィーダー系統確保維持費国庫補助金
地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>飛騨市は岐阜県最北端に位置し、北は富山県、南は高山市に接し、市内及び富山市、高山市が日常の生活圏となっている。面積792.53km²、人口22,549人(R4.12.1現在)、高齢化率40.05%と広大な市域において人口減少及び高齢化が進んでおり、高齢者等でも利用しやすく、かつ、市内及び市外への生活の移動に利用することのできる地域公共交通を維持確保していくことが重要課題である。</p> <p>飛騨市公共交通網形成計画策定時(H27.3 25,855人)と比較し、約12.8%の人口減である。</p> <p>地域公共交通の利用者数は、網形成計画策定初年度から比較すると次年度以降は増加し、その後は平成30年度を境に減少傾向にあるが、網形成計画及び再編実施計画に伴う事業実施により、路線、利用環境等が整備されて地域に定着したことで一定の利用者を得られている。</p> <p>令和3年3月に網形成計画の後継計画である飛騨市地域公共交通計画を策定し、それまでの路線網では非効率な部分や、地域住民のニーズに合わない部分が散見されたことから通学や通院・買物移動のサービス水準は担保しつつ、「持続可能なサービスの確保・充実」「成長する地域公共交通サービス」「まちづくりへの寄与、上位計画との整合性」を方針として維持・改善を進めることとしており、利用者となる市内人口が減少していく中において、これまで利用されなかった市民の利用や市外からの来訪者の利用など、地域公共交通を維持確保していくことに対する市民の理解や市内外に対する利用促進を強化していくことが必要である。</p>